

Information 事務局報告：庶務担当，広報渉外委員会から

1. 理事会(2014.12.3)，総会(2014.12.5)(いずれもパシフィコ横浜会議センター)報告
 1. 2013年度(2013.10-2014.9)の決算，2014年度(2014.10-2015.9)の予算が承認されました。
 2. 副会長(次々期会長)に，大石英則先生(順天堂大学脳神経外科)が選出，選任され，2017年の学術総会会長に決まりました。
 3. 兵頭明夫先生(獨協医科大学越谷病院)が理事長に，小宮山雅樹先生(大阪市立総合医療センター)，佐藤浩一先生(徳島赤十字病院)が監事に選出，選任されました。
 4. 滝 和郎先生(康生会武田病院脳卒中センター)が相談役に，坂井信幸先生(神戸市立医療センター中央市民病院)が事務局長に再任されました。
 5. 岩田博夫先生(京都大学再生医科学研究所)が，名誉会員に推戴されました。
 6. 2015年4月1日から事務所を国際医学情報センター(東京都新宿区信濃町)に移転し，事務局業務を委託することが決まりました。それに従って，定款第2条を「この法人は，主たる事務所を東京都新宿区信濃町35番地に置く。」に改訂することが，理事会および総会で議決されました。
 7. 利益相反規則の改訂が，採択され，発効しました。詳細は，学会ホームページをご覧ください。
 8. 日本脳神経外科学会が開始するNational Clinical Databaseへの脳血管内治療の登録に，日本脳神経血管内治療学会の内科医，放射線科医(非脳神経外科学会会員)が参加することが議決されました。
 9. 日本専門医機構の発足に伴い，未分類の専門医制度に位置づけられている脳血管内治療専門医が，同機構の承認を得ることができるよう準備を始めました。カリキュラムを定めることが第一歩となりますので，ワーキンググループを組織して準備を始め，理事会合意・パブリックコメント募集などの手順を経て，できるだけ早く制度設計の目処を立てることになりました。
2. 学術総会(2014.12.4-6，パシフィコ横浜)報告
松丸祐司(虎の門病院脳神経血管内治療科)会長のも

と，第30回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会が開催されました。主題は「脳血管内治療のすすめ」でしたが，冒頭の会長講演で，会長の意図するところが明確に示され，まず機能的脳血管解剖学をじっくり勉強するプレナリーセッションで幕を開けました。参加者は初日の午前に1,000名を越え，どの会場もほぼ満席となる大盛況でした。登録研究と大規模試験，脳動脈瘤塞栓術におけるステントの功罪，急性再開通療法をより良くするための課題，脳血管内治療専門医制度とキャリアパスなど，取り上げられた重要なテーマはすべて脳血管内治療の発展を成し遂げるために議論を要する課題で，最後の会長講演は感動のあまり涙腺が緩んだ参加者が続出する立派な講演でした。2300名を越える参加者，1175題の演題数，すべて史上最高の数字でした。30回を記念した学術総会の記念展示も素晴らしい企画でした。来年は岡山で杉生憲志会長(岡山大学脳神経外科)が学術総会を開催しますが，本学会がますます発展することを確信する学術総会となることでしょう。

《受賞者》

1. 優秀論文賞

金賞 重松朋芳先生

(大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学)

Endovascular Therapy for Asymptomatic Unruptured Intracranial Aneurysms:JR-NET and JR-NET2 Findings
掲載雑誌：Stroke, 2013(44):2735-274

銀賞 遠藤英徳先生

(広南病院脳神経外科)

Medullary infarction as a poor prognostic factor after internal coil trapping of a ruptured vertebral artery dissection
掲載雑誌：J Neurosurg, 118:131-139, 2013

銅賞 新甫武也先生

(宮崎大学脳神経外科)

Arterial Spin-Labeled Perfusion Imaging to Predict Mismatch in Acute Ischemic Stroke

掲載雑誌：Stroke, 2013 Sep;44(9):2601-3

2. JNET 優秀論文賞

金賞 伊藤嘉朗

(筑波大学医学医療系 脳神経外科)

Closed-cell stent を用いた頸動脈ステント留置術における頸動脈の屈曲度と微小脳塞栓の関係

掲載雑誌：JNET 7:75-80, 2013

銀賞 田中铁兵

(藤田保健衛生大学 脳神経外科)

妊娠に合併した脳卒中に対する脳血管内手術—人体ファントムを用いた下腹部被曝量測定からの考察—

掲載雑誌：JNET 7:243-251, 2013

銅賞 大橋経昭

(医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院 脳神経外科)

プラチナコイルが脳動脈瘤壁に及ぼす力は、素線径に依存しコイル径には影響されない —実験的検討—

掲載雑誌：JNET 7:81-87, 2013

3. ポスター賞

〈脳動脈瘤〉

金賞 呂 彩子

(東京女子医科大学医学部 法医学講座)

2-P1-8 破裂脳動脈瘤の病理形態学的特徴：前大脳動脈瘤 40 剖検例の観察

銀賞 山本宗孝

(順天堂大学医学部 脳神経外科)

1-P6-4 Silent MRA はステント支援下脳動脈瘤コイル塞栓術のフォローアップに有用である

銅賞 八子理恵

(和歌山県立医科大学医学部 脳神経外科)

1-P9-9 椎骨動脈瘤ステント併用コイル塞栓術 2 年後に OCT でステント内腔を観察できた 1 例

〈脳動脈瘤 2〉

金賞 藤村宗一郎

(東京理科大学 工学部第一部 機械工学科)

1-P12-7 コイルコンパクション発生要因の CFD 解析による解明

銀賞 高尾洋之

(東京慈恵会医科大学 脳神経外科)

3-P1-7 脳動脈瘤における 4DCTA と数値流体力学 (Computed Fluid Dynamics) 解析の比較 —リアルとバーチャルの比較—

銅賞 ニツ矢浩一郎

(産業医科大学 放射線科学)

1-P4-10 患者被曝線量の収集と活用を目的としたサーバーの開発

〈CAS〉

金賞 鐵尾佳章

(岸和田徳洲会病院 脳神経外科)

2-P10-1 CAS による術後徐脈・低血圧の発生に関するステントデザインの影響 - 他施設共同研究の結果から -

銀賞 金澤隆三郎

(流山中央病院 脳神経外科)

1-P10-2 頸動脈狭窄における、「定量的」プラーク硬度評価に関する研究

銅賞 佐藤圭輔

(新潟大学 脳研究所 脳神経外科学分野)

1-P8-2 鎖骨下動脈高度狭窄および完全閉塞に対するステント留置術の治療成績及び治療困難例に関する考察

〈血行再建〉

金賞 太田圭祐

(名古屋大学医学部 脳神経外科)

1-P11-7 当科における stent retriever, Penumbra system (ADAPT/a direct aspiration first pass technique) を使用した急性閉塞における治療成績

銀賞 重島裕也

(広南病院 脳血管内科)

1-P11-9 M1 distal から M2 閉塞に対するステント型血栓回収機器の当院での使用成績～血栓全体を retrieval/active zone で覆えない場合の経験より

銅賞 進藤誠悟

(兵庫医科大学 脳卒中センター)

1-P11-10 stent retriever における閉塞部位とその有効性に関する検討

〈AVM・ADF・その他〉

金賞 清末一路

(大分大学 医学部附属病院 放射線部)

2-P3-2 Artery of superior orbital fissure: an undescribed branch of the maxillary artery to the cavernous sinus

- 銀賞 井料保彦
(熊本大学付属病院 画像診断・治療科)
- 3-P8-4 脳動静脈奇形の評価における ASL を用いた
経時的 MRA による検討
- 銅賞 上村昭博
(聖路加国際病院 神経血管内治療科)
- 2-P7-8 硬膜動静脈瘻血管内治療後の幻視症状
(技師)
- 金賞 内大久保裕司
(社会医療法人社団 森山医会 森山記念病院
放射線科)
- 技師 P4-8 当院における放射線技師の技能の向上と
継承についての取り組み
- 銀賞 大木規義
(総合病院国保旭中央病院 診療技術部 放射
線科)
- 技師 P2-7 頸動脈 Wallstent 留置症例における経静脈
性造影高精細 Cone Beam CT (IV-VasoCT)
の画像処理法
- 銅賞 齋藤 誠
(IMS グループ 横浜新都市脳神経外科病院
画像診療部)
- 技師 P2-3 急性期 MCA 閉塞の IVR 治療における希
釈造影 CBCT 撮影を用いた血栓範囲把握
と閉塞部遠位血管描出への工夫
(看護)
- 金賞 大野有沙
(順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部
放射線科)
- 看護 P2-10 脳血管造影室看護師の被曝線量調査と看
護行為の検討
- 銀賞 那賀利江
(永富脳神経外科病院 看護部)
- 看護 P2-2 局所麻酔下にて脳血管撮影・治療を受け
る患者の不安に対する看護師のケア
- 銅賞 岡本久美
(和歌山県立医科大学附属病院 看護部)
- 看護 P2-1 患者が安心して IVR を受けられるために
～広報新聞の活用～

3. 会員各位へ

1. 学会ホームページ <http://www.jsnet.umin.jp/> に適時
重要な情報が公告されますので、常にご注意下さ

- い. 規則改正を経てからになりますが、本学会の
公告はホームページで行うことになる予定です.
2. 会員情報システムの運用が始まりました. 住所変
更, 所属変更, 連絡先変更などを, 各自で行って
いただくことが可能になりました. 必ず, 最新情
報を登録するよう心がけて下さい. 本システムで
は, 会員歴や会費納入, 専門医制度に関する情報
なども, 閲覧できるようになります. 詳細は, 学
会ホームページ <http://www.jsnet.umin.jp/> でご確認
下さい.
3. 学会メールアドレスは jsnet-admin@umin.net,
専門医制度事務局メールアドレスは jsin-hq@umin.net, 会員業務担当メールアドレスは [jsnet_ service@medical-tribune.co.jp](mailto:jsnet_service@medical-tribune.co.jp) です.
4. 脳血管内治療関連のセミナーや集会情報を学会
メールアドレスまでお寄せ下さい.